

# やはば

議会だより

236  
2026.4.24  
岩手県  
矢巾町議会



「議員の学校」閉校式  
(令和8年3月25日)  
(関連記事 P22・P24)

令和8年度予算を慎重審議…………… 2～3

町政を問う

代表質問4会派・一般質問9議員… 8～21

3つの常任委員会活動報告

令和7年度管外視察研修を実施 … 23

過去の議案書などは  
町議会ホームページ  
に掲載中



# 令和8年度予算を 慎重審議

3月議会は令和8年2月16日から3月19日まで開催し、主に令和8年度予算に関する審議が慎重に行われました。

審議のうち、3月16日の一般会計予算に対する総括質疑の一部をご紹介します。

## 重点施策・課題

**質問** 限られた財源の中で、令和8年度の重点的施策は。

**回答** 民生費は、補正予算対応ではなく当初予算ですべて計上した。中学校2校の空調設備は2カ年計画だが、最優先に取り組み。

**質問** 財政運営上の課題は。

**回答** 地方債の償還額より起債の発行額を抑えていくこと、また建物の更新も考える時期のため、将来のハード事業に向け財政の柔軟性を確保することが課題。少額でも節約意識を持って取り組んでいく。

**質問** 財源確保にはふるさと納税の強化が必要ではないか。

**回答** 引き続き努力する。

## マイナンバー

**質問** マイナンバーカードの利用は広がっているか。

また、デジタル格差を是正する取り組みは。

**回答** 物価高騰給付金に関してはマイナンバーカードの公

金受取口座連携の仕組みも活用したが、今後もこの仕組みを活用していきたい。

令和8年度はDX推進計画の策定も予定しているため、庁内だけでなく町民の利便性向上も併せて検討していく。

## 消防団員確保

**質問** 団員確保のための報酬額を引き上げてはどうか。

**回答** 現在、団員の定数412名のうち303名が所属（機能別団員を含む）。全国的な動きがあり、本町も令和4年度に年間報酬と出勤報酬をそれぞれ見直し引き上げた。消防団員確保に向けては、やりがいなどを発信しつつ検討していく。



訓練を行う町の消防団員

## 防災・減災

**質問** 大堤の田んぼダム化が令和8年度に整備されることに伴う目標値の設定は。

また、田んぼダムの仕組みや目的の周知を図りたい。

**回答** 対象地区での会合を開くなど音頭をとって進めたい。令和7年度の秋まつりではPR活動も行ったが、今後も広く周知に努めたい。



大堤（和味地区）の田んぼダム

**質問** 立地適正化計画における防災指針の中に、民間連携のあり方を明記する考えは。

**回答** 他の個別計画との整合性を図り、作成を進める。

緊急性のある夜間などでの垂直避難に協力いただける企業があれば、積極的に声をかけをし、協定を結んでいきたい。

## 住宅施策

**質問** 町営住宅を、子育て世帯向け住宅や定住促進住宅として運用する考えは。

**回答** 本町の場合、空き部屋のあるアパート数が多いことや新たな宅地造成もしていることから、子育て支援や定住促進を目的とした住宅については今後検討したい。

## 公園整備

**質問** 公園の長寿命化に関する計画の内容は。

**回答** 今回は都市公園「広宮沢公園」が対象で、施設維持を目的とする。

現在、利用件数に伸び悩み、時代とともに需要の変化が見られる。近隣市町ではパークPFIの手法で都市公園の再活性化を図っている事例もあり、色々な可能性を探る。

## 特産品開発

**質問** 特産品開発をはじめとする町の施策課題を、地元大学などでの研究に活かしては。

**回答** 特産品開発を含め、そのアプローチ方法もあると捉えている。連携の可能性について大学と協議してみたい。

## 西部地域活性化

**質問** 西部地域の観光施策と資源活用を面として捉え、持続的な事業を運営する考えは。

**回答** 西部地区活性化検討委員会で検討していく。

将来的に、いわて森林の感謝祭で植樹した桜の木が育ち開花すれば、春は桜、夏はひまわりの観光地になり、城内山のハイキングも併せ季節を感じられる場所になりたい。

**質問** 煙山ひまわりパークの舗装を計画しているが、ウッドチップでの整備には。

**回答** アスファルト舗装・敷砂利・ウッドチップと、それぞれの場所に見合った適切な整備を実施する。



整備が進む煙山ひまわりパーク

## コミュニティ

**質問** コミュニティ支援員の活躍を大いに期待しているが、活動内容は。

**回答** 地域の現状把握、住民同士の話し合い促進、地域運営のサポートなどを担う。

現在は1名だが、将来的に2名体制を見据えている。

**質問** コミュニティスクールを推進する中でコミュニティ支援員の活用策は。

**回答** 最終形として多分野を支援するような組織の立ち上げが目標にあるため、今後コミュニティ支援員も含めた体制づくりに取り組んで行くが、現段階では、コミュニティスクールの中にはコーディネーター

ターという役割の方がいるため、そこを核とした活動が大事だと考えている。

## 健康

**質問** 健康寿命の延伸施策は数多く行われているが、これらを一本化すれば、評価や周知が容易になるのでは。

また、町民に向けて意識の醸成、周知はされているのか。

**回答** すでに課内で担当間の連携はできているが、一本化も一つの手法と捉えて検討していきたい。また、本町の健康寿命が全国平均から見ても高いことを、工夫を凝らして周知していく。



## 教育

**質問** 令和8年度はスクール

カウンセラーが増員される。

子どもや保護者と教職員の繋ぎ役としても期待されるが、どのような運用方針か。

**回答** 現在も子どもたちとの面談や校内観察の中で教職員にフィードバックする役割を担い、校内会議へ出席し専門的観点からのアドバイスなども行っている。引き続き効果的に作用するよう、連携を密にして運用していきたい。

## 保育

**質問** 煙山保育園の病児保育を進めていくうえで、施設改善などの検討はしているか。

**回答** 病児保育施設の整備は検討を重ね、保育所併設型の病児保育室を整備する方針で、病児保育室が独立したかたちが理想。令和8年度は引き続き検討し、令和9年度以降に整備できればと考えている。

**質問** 現場で働く保育士の声を聞き、理解を得ているのか。

**回答** 通常保育のほか、民間では難しい医療的ケア児の受け入れや誰でも通園制度の導

入を図り、多機能化している

点が公立保育園の強みと捉えている。公立保育園の職員とはヒアリングも実施しており、その中で「通常保育が基本にあり質を確保しながら他事業を展開すること」を求める声や「職員の採用計画を整えること」のニーズがあった。

引き続き協議を進め、職員にとっても魅力的な施設になるよう努める。

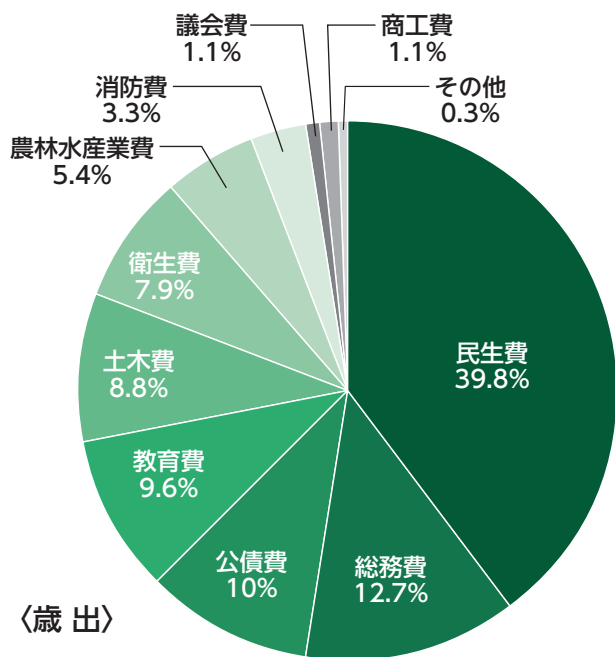
## 文化財

**質問** 文化財の場所や内容などがすぐに判り、手に取れる冊子版やポストカード形式などの工夫で周知を図っては。

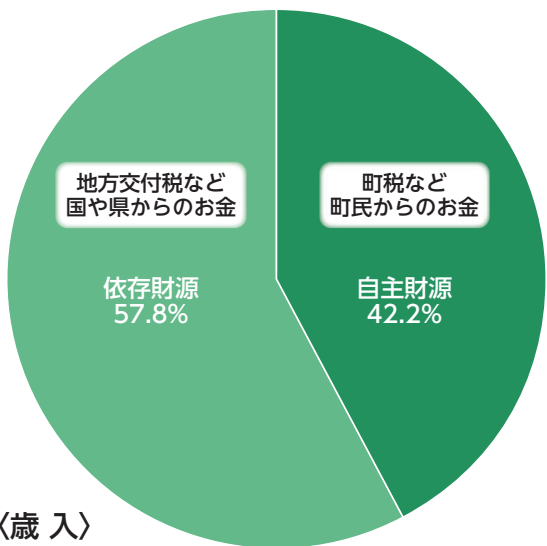
**回答** 令和8年度は文化財マップを作成予定。貴重な文化財の継承や保全に取り組む。



# 令和8年度予算概要



〔一般会計〕  
歳入歳出予算額  
**118億6,850万円**  
(対前年度比5,600万円増)



民生費	児童手当や高齢者、障がい者など福祉のためのお金
総務費	庁舎や財産などの維持管理などのお金
土木費	道路や橋などの公共整備のためのお金
公債費	町が借りましたお金の返済
教育費	学校や教育のためのお金
衛生費	ごみ処理、予防接種などのお金

## 詳しくは

令和8年度予算の詳細は、矢巾町ホームページに掲載されています。こちらのQRコードからご覧ください。



### 【 企業会計の豆知識 】

#### 収益的収支とは

水道水をつくり使用者にお届けする、または汚水や集落排水を集め処理するための財源と経費のこと。

#### 資本的収支とは

施設を建設・改良するために必要な財源と経費のこと。

## 令和8年度 各会計の当初予算額

会計名		予算額 (千円切捨)	前年度比	
一 一般会計		118億6,850万円	0.5%増	
特別会計	国民健康保険事業	23億6,323万円	11.9%減	
	介護保険事業	26億1,466万円	1.3%増	
	後期高齢者医療	3億9,784万円	17.2%増	
企業会計	水道事業	収益的収入	8億8,054万円	0.1%減
		収益的支出	8億1,728万円	5.9%増
		資本的収入	1億2,291万円	42.4%減
		資本的支出	5億7,269万円	18.2%減
	公共下水道事業	収益的収入	8億4,632万円	0.5%増
		収益的支出	8億1,333万円	1.5%減
		資本的収入	2億9,572万円	9.3%減
		資本的支出	5億8,453万円	5.1%増
	農業集落排水事業	収益的収入	2億7,016万円	6.3%減
		収益的支出	2億8,772万円	4.8%減
		資本的収入	5400万円	44.6%減
		資本的支出	2億5,923万円	21.7%増

# 討論

令和8年度の予算について、表決に付される前に3人の議員から、反対と賛成の意見がありました。

## 反対 小川 文字 議員

第一子保育料無償化など、少子化対策としての積極的な子育て支援策の拡充が必要である。また、町立保育園における普通保育の継続と保育の質の維持向上も図りたい。老人クラブの補助金は変わらないが、地域活動委縮防止に向けた再検討と丁寧な説明が必要である点から、反対する。

## 賛成 横澤 駿一 議員

令和8年度の施政方針・教育行政方針に基づき、各分野の具体的事業が予算に裏付けられている点を評価。特に中学校体育館への空調設備導入や造血幹細胞移植後の予防接種事業の実施に踏み出したことは「みんなにとって優しい社会の第一歩」として意義ある予算措置である。分野横断的な連携を期待し、賛成とする。

## 賛成 村松 信一 議員

令和8年度の施政方針・教育行政方針に基づき、町民の暮らしに寄り添った施策が数多く盛り込まれていることを評価する。  
各担当課が十分に検討を重ね予算化した事業が、実施後「よくできた」と胸を張れる成果につながるよう、真剣かつ着実な取り組みを期待し、賛成とする。

# 予算決算常任委員会 令和8年度予算の審査報告

令和8年3月19日に、予算決算常任委員会の昆秀一委員長が6項目の意見を付したうえで可決すべきとの意見書を議長に提出し、賛成多数で可決しました。

## 6項目の審査意見



**1** 予算執行は町民意見を反映した上で、成果志向による行政運営の推進を図りたい。

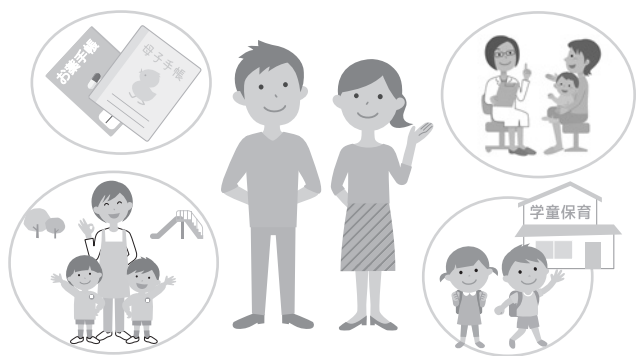
**2** 委託料・補助金を含めた財政支出は、費用対効果の数値化と十分な検証により説明責任を果たされたい。

**3** 各地域の実情に応じてコミュニティ支援員や関係する制度を活用し、地域課題に即した持続可能な地域力の強化を図られたい。

**4** 特産品開発や観光資源を一体的に活用して、ふるさと納税など地域経済の活性化を推進されたい。

**5** 子育て支援・環境の施策を充実させることで、出生率の向上につながるよう努められたい。

**6** 道路整備、防災・減災対策を進め、安心して暮らせる生活基盤の充実と将来への投資を強化されたい。



# 物価高騰への支援進む

## 町民1人8千円給付の予算が可決(1月第2回会議)

1月会議(1月6日開催)、1月第2回会議(1月30日開催)、3月会議(2月16日~3月19日開催)においては、条例改正や補正予算、人事に関する事など多くの議案について慎重審議しました。

議会で決めたこと

### 1月会議

#### 政治倫理審査

令和7年9月会議の最終日における令和6年度各会計決算に対する小川文子議員の反討論中の一部発言について、町議会議員政治倫理条例違反の疑いが指摘された。これを受け、11月会議(11月4日)に赤丸秀雄議員を委員長とする政治倫理審査に関する特別委員会が設置され、付託後から12月24日まで計7回の委員会(幹事会含む)を開催。第5回(12月8日)には議員の弁明聴取と質疑を実施した。

令和8年1月会議(1月6日)で委員長が審査報告を行い、違反の存否は「違反あり」と認定、措置は「議場での謝罪文朗読」と決定し、議員は町長の個人情報やプライバシーに関わる発言、議長の再三の制止に従わなかった点を謝罪し、今後は事実確認に基づく発言に徹する旨を表明した。

廣田清実議長は倫理徹底と再発防止の注意喚起を行った。

### 1月第2回会議

#### 補正予算

##### 主な歳入

- ▽普通交付金 1億9,536万3千円
- ▽物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金 2億5,908万円

##### 主な歳出

- ▽食料品物価高騰対応支援金 2億880万円
- ▽コミュニティ施設物価高騰対策支援金 82万1千円
- ▽畜産農家物価高騰対策支援金 240万円
- ▽中小企業物価高騰対策支援金 4,205万円
- ▽除雪業務委託料 1億6,640万8千円

##### 主な質疑

**質問** 中小企業への支援は個人事業主も対象か。

**回答** 町民1人8千円の支援もあるため今回は法人に限る。

##### 主な質疑

**質問** 報償費の50万円とは。

**回答** 県立高校新体育館に関する弁護士費用である。

**質問** 町民にとっては新聞記事のみの情報しかなく、町への不安を耳にする。町民への説明会をする方針は。

また、町民への説明会を令和7年度内に開催しては。

**回答** 議会に対する説明と同じように、町民にも機会を捉えて説明していきたい。

今後は弁護士とよく相談しながら、この事態を明らかにしていきたい。

**質問** 新聞報道では、3月23日までに県に対して支払日を回答することとなっていたが、その対応は。

**回答** 支払う根拠はないと認識している。令和7年10月に県に対して文書を送付し、第三者委員会の設置を申し入れたが返答がなかった。今回の賠償金も一方的である。

今後は弁護士の司法の専門的な見識を仰ぎ、対応を考えていく。

### 3月会議

#### 補正予算

##### 主な歳入

- ▽個人町民税 1,088万3千円
- ▽法人町民税 1,181万8千円
- ▽固定資産税 1,900万円
- ▽地方消費税交付金 5,097万7千円

##### 主な歳出

- ▽報償費 50万円
- ▽介護給付費・訓練等給付費 2,000万円
- ▽農村地域防災減災事業費 1,260万円
- ▽除雪業務委託料 4,275万3千円

# 各議案の採決状況

## 令和8年定例会1月会議（令和8年1月6日）

議案番号	提出議案	議員名														採決結果				
		高橋 恵	高橋 敬太	横澤 駿一	ササキ マサヒロ	吉田 喜博	藤原 信悦	齊藤 勝浩	小川 文子	木村 文子	小笠原 佳子	山本 好章	高橋 淳一	水本 淳一	村松 信一		昆 秀一	赤丸 秀雄	谷上 知子	
議案第1号	一般職の職員の給与に関する条例及び矢巾町一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
議案第2号	特別職の職員の給与及び旅費等に関する条例の一部改正	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	可
発議案第1号	議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正	○	●	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
議案第3号	令和7年度矢巾町一般会計補正予算（第8号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
議案第4号	令和7年度矢巾町水道事業会計補正予算（第4号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
議案第5号	令和7年度矢巾町下水道事業会計補正予算（第4号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
—	矢巾町議会議員政治倫理条例に基づく審査請求事件	○	○	○	○	○	○	○	○	退	●	○	○	○	○	○	○	○	○	違反 あり
—	矢巾町議会議員政治倫理条例に基づく必要な措置	○	○	○	○	○	○	○	○	退	○	○	○	○	○	○	○	○	○	謝罪文 朗読

## 令和8年定例会1月第2回会議（令和8年1月30日）

議案第6号	令和7年度矢巾町一般会計補正予算（第10号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
-------	------------------------	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

## 令和8年定例会3月会議（令和8年2月16日～3月19日）

議案第7号	一般職の職員の旅費に関する条例の全部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
議案第8号	矢巾町固定資産評価審査委員会条例等の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
議案第9号	矢巾町税条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
議案第10号	特別職の職員の給与及び旅費等に関する条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
議案第11号	一般職の職員の給与に関する条例及び矢巾町一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
議案第12号	会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
議案第13号	矢巾町学校給食の実施及び学校給食費の管理に関する条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
議案第14号	町道路線の廃止	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
議案第15号	町道谷地線交通安全施設整備その3工事請負契約変更	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
議案第16号	令和8年度矢巾町一般会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
議案第17号	令和8年度矢巾町国民健康保険事業特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
議案第18号	令和8年度矢巾町介護保険事業特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
議案第19号	令和8年度矢巾町後期高齢者医療特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
議案第20号	令和8年度矢巾町水道事業会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
議案第21号	令和8年度矢巾町下水道事業会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
議案第22号	副町長の選任	○	●	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	不同意
議案第23号	矢巾町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例及び矢巾町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
議案第24号	令和7年度矢巾町一般会計補正予算（第11号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
議案第25号	令和7年度矢巾町国民健康保険事業特別会計補正予算（第3号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
議案第26号	令和7年度矢巾町介護保険事業特別会計補正予算（第3号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
議案第27号	令和7年度矢巾町後期高齢者医療特別会計補正予算（第3号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
議案第28号	令和7年度矢巾町水道事業会計補正予算（第5号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
議案第29号	令和7年度矢巾町下水道事業会計補正予算（第5号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
発議案第2号	議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可

○=原案に賛成 ●=原案に反対 欠=欠席 可=可決 否=否決 退=退席 注：廣田清実議長は採決に加わらない。

# が 町政を問う

## 代表質問

代表質問は、町長の施政方針演述・教育長の教育行政方針演述の内容について問うもので、今回は4交渉会派が代表質問を行い、活発な議論が展開されました。  
(本町では、3名以上で構成される会派を交渉会派としています。)

- 町民の会 高橋安子議員 ..... P9
  - ①令和8年度施政方針について
  - ②令和8年度教育行政方針について
- 新誠会 山本好章議員 ..... P10
  - ①令和8年度町長施政方針について
  - ②令和8年度教育行政方針について
- 矢巾未来の会 齊藤勝浩議員 ..... P11
  - ①令和8年度行政運営について
  - ②令和8年度教育行政方針について
- 不來方 横澤駿一議員 ..... P12
  - ①令和8年度施政・教育行政方針について

## 一般質問

一般質問は、議員が執行機関に対して、町政全般にわたる執行状況や将来に対する方針などの諸問題について質問を行い、町の姿勢を明らかにするものです。3月会議では議員9人による一般質問が行われ、活発な議論が展開されました。

- 村松信一議員 ..... P13
  - ①継続的かつ計画的に推進する施策について
  - ②未来創造宣言に基づく取り組みについて
- 小笠原佳子議員 ..... P14
  - ①感染症対策について
  - ②主権者教育と平和教育について
  - ③情報リテラシーについて
- 藤原信悦議員 ..... P15
  - ①未整備となっている北上川堤防の早期着工を
  - ②デジタル技術や専用アプリを活用した道路管理や農地集約を
  - ③地区計画による企業誘致について
- 高橋敬太議員 ..... P16
  - ①多様なひとが関わり合うまちづくりは
  - ②多様なひとが関わり合う産業振興は
  - ③多様なひとが関わり合う教育は
- 赤丸秀雄議員 ..... P17
  - ①奨学金制度充実の取り組みについて
  - ②西部地域の観光も含めた更なる活性化について
  - ③中学校体育館2校への空調設備設置について
- 水本淳一議員 ..... P18
  - ①農地の集積・集約について
  - ②公有地などの保全について
  - ③歴史遺産の継承について
- 小川文子議員 ..... P19
  - ①南昌みらい高校新体育館の共創プロジェクトについて
  - ②子どもの医療費助成一部負担を無くし、全額無償化を
- ササキマサヒロ議員 ..... P20
  - ①次世代農業の選択肢拡大に向けた産業用大麻の可能性について
  - ②南昌山水辺の里の戦略的再構築による交流人口・関係人口創出について
- 昆秀一議員 ..... P21
  - ①町民の幸福をどうはかり、どう高めるのか
  - ②地域コミュニティの現状と、持続可能な支え合いの構築を
  - ③特別に支援の必要な子どもへの支援体制は

通告書は矢巾町議会ホームページに掲載しています。

代表質問通告書



一般質問通告書



掲載の質疑内容は、質問した議員の原稿によるものです。

# コミュニティ活動の支援は 地域の取り組みをサポート



たかはし やすこ  
**高橋 安子 議員**  
(町民の会)

動画は  
こちら



**質問** 集落支援員制度の活用による地域コミュニティに対する支援とは。

**町長** 令和7年11月からコミュニティ支援員を1名任用。

地域課題の把握、活性化の促進などを目的に「地域みらいづくり会議」の運営補助や「ふるさと住民登録制度」を見据えた関係人口創出関連業務を担っている。今後「地域みらいづくり計画」に沿った具体的な取り組みもサポート。

## 矢幅駅東口の 整備活用は

貸しスペース継続  
引き続き活用検討

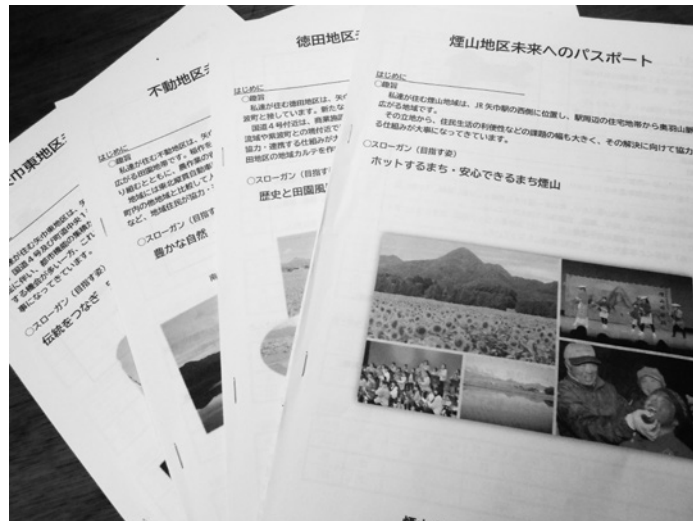
**質問** 令和8年4月に、岩手医大附属内丸メデイカルセン

ターの機能移転に伴い、交流人口はますます増加する。駅はまちの玄関で、さらなる観光情報発信が必要と思うが。

**町長** SNSなどを活用し、地域情報発信ステーションでのきめ細やかな対応に努める。

**質問** 以前ハバタークとして利用していた場所の活用は。

**町長** チャレンジショップや展示会会場としての利用を検討。現在は貸しスペースとして運用中で、利用申請がない



地域みらいづくり会議で作成した地区ごとの未来へのパスポート

## 矢巾斎苑の 構想検討は

前期総合計画で  
基本構想を策定

**質問** 矢巾斎苑のあり方の基本構想は令和9年度までに策定するとしているが、設置場所の検討は。

日は、高校生などの学習スペースとして試験的に解放。

**町長** 斎苑誘致にかかる陳情内容も踏まえ、施設規模などを整理。選定委員会を開催し基本構想の策定を進める。

## 町独自の 教職員研修とは

全教員を対象に  
認識の徹底を

**質問** 教職員のコンプライアンス遵守徹底を図るための町独自の研修内容とは。

**教育長** 夏季休業期間中にコンプライアンス研修の機会を設け、法規保持と服務規律の徹底を図る。

**質問** 学校・家庭・地域連携の推進に向けたコミュニティスクールの現在の進捗状況は。

**教育長** 現在、合同地区別研修会を開催し「学校と地域が協働すること」をテーマに熟議を実施。

令和8年度からは、中学校区ごとにコーディネーターを配置し、体制の充実を図る。

# 未来を見据えた町の具体像は 持続可能性を確保する



やまもと よしあき  
**山本 好章 議員**  
(新誠会)

動画は  
こちら



代表質問 町政を問う

を設置し、公共施設カルテなどの資料を基に検討を進める。

## 学校再編に 地域意見を反映

## 素案作成後に 意見聴取する

**質問** 学校再編では安心安全な通学と9年間の義務教育を踏まえ検討し、令和8年度中

に再編整備計画の素案作成とされているが、学校・保護者・地域の意見をどう集め、合意形成を進めるのか。

また、作業スケジュールは。

**教育長** 教育委員会では現在、人口推計や先行事例を基に素案作成を進めている。

素案作成後、学校関係者や保護者、地域の意見を聴取し、令和9年度に計画策定を行いたいと考えている。

**質問** 学校プールの整備は、酷暑の対応も含めて計画を立てているのか。

**教育長** 学校施設長寿命化計画に基づき、必要に応じて小破修繕を適切に行いながら、継続使用する方針。酷暑対策は、熱中症のリスク低減対策に努め、児童生徒の健康や安全を最優先に考え対応する。

## 給食費無償化 今後の検討は

## 給食費据え置きで 負担軽減を図る

**質問** 国は小学校の給食費無償化を令和8年度から開始する見込みだが、これをさらに発展させた保護者の実質的な負担軽減は今後検討するか。

**教育長** 小学校給食費は国が8年度から無償化予定。

町の第3子以降無償化は中学生を対象に継続する。食材価格は高騰しているが、8年度は給食費を据え置き、保護者の実質負担軽減を図る。

**質問** 公共施設の数・規模などを抜本的に検討する公共施設維持検討の会議体を設置するとあるが、具体的な検討の進め方は。

**町長** これまでの拡大前提のまちづくりから持続可能性を重視した選択と集中への転換が必要である。

**町長** 学校施設を含めた公共施設は、更新・統合・廃止な

どのあり方を検討する会議体



公共施設の数・規模などを抜本的に検討



さいとう かつひろ  
齊藤 勝浩 議員  
(矢巾未来の会)

動画は  
こちら



# 施政方針の「賢く縮む」とは 人口減少を前提とした運営を模索

**質問** 施政方針では、社会情勢の変化を鑑みた公共施設のあり方を検討すると述べられたが、インフラ整備の動向も含めた具体策は。

**町長** 公共施設やインフラの多くが更新時期を迎える今、将来世代に負担を残さず、地域の暮らしの質を守る必要がある。スマートシユリンクの理念に基づく安全性を確保する取り組みを進める。

**質問** 複合的見地から、高齢者の居場所、健康増進、子育て対策の機能を併せ持ち、交流人口増も期待できる、天候に左右されない複合施設の整備に取り組むときは。

**町長** 喫緊の課題と認識。他自治体の事例検証を行い、各課連携を図り、将来を見据え



令和7年に設置された「警報よびかけ塔」

た必要な施策を進める。

**質問** 大きな伸びしろがある本町の地域産業の活性化策は。

**町長** 情報収集に努め、誘致可能な用地の掘り起こしを行う。盛岡南道路の接続道路沿

いは、本町の物流の良さを生かした製造業や商業施設の集積を目指していく。

**質問** 河川の防災対策で、岩

崎川沿いに警報呼びかけ塔が建設された。設置数と用途は。

**町長** 煙山ダムからの放流に伴う安全確保の周知を行うため、岩崎川流域に4基設置。

**質問** 岩手医大附属病院の機能集中により、往来者の更なる増加が見込まれる中、早期に危険箇所洗い出しと交通安全の啓蒙活動が必要では。

**町長** 昨年から南昌みらい高

校前の横断歩道においても歩行者優先の呼びかけを実施。更なる危険箇所の把握を行い、町交通安全対策協議会で協議し、改善要望を強く行う。

**質問** 持続可能な財政運営のために、町の資源を再評価し、雇用創出、経済効果を上げる仕組みづくりが必要では。

**町長** リサイクル循環の仕組みづくりも含め、魅力あるふるさと納税返礼品開発につながる情報を収集していく。

## 部活動 地域展開の進捗

維持可能な  
活動体制を目指す

**質問** 中学校の部活動地域展開は、早期に骨子をまとめる必要がある。進捗状況は。

**教育長** 本町ではまず休日の地域展開から着手し、将来的に平日も含めた展開を目指す。活動の継続性と質の確保を図り、維持可能な体制づくりに取り組んでいく。

# 人口減少時代のまちづくり

## 透明性ある政策決定へ



よこさわ しゅんいち  
横澤 駿一 議員  
(不来方)

動画は  
こちら



### 起業創業の 拠点整備は

**質問** 人口減少を前提とした「スマートシユリンク」の考えが示された。人口減少は本町だけでなく全国的課題である。今は議論だけでなく「決める」「動かす」を町民に見える形で示す段階にきている。政策決定の基準や期限、町民参加の仕組みなどをルール化し、示す考えはあるか。

**町長** 政策決定には関係者の範囲や財政状況など総合的な判断が必要である。意思決定の過程を町民に示すことは重要であり、ワークショップや広報などを通じて情報発信を行い、透明性の高い行政運営を目指していく。

### 支援整備を進め、 施策の連携を検討

**質問** 起業創業支援制度や相談体制は整いつつあるが、実行段階での課題は事務所や店舗など「場所」の確保である。町外で起業する例もあるチャレンジショップやコワーキングを備えた産業拠点整備の考えを伺う。

**町長** 創業支援補助や相談体制を整えているところで、産

### 農業で稼ぐ 仕組みづくりを

業拠点については、現在の施策との連携を整理しながら必要な機能の確保について検討を進めていく。

**質問** 農業は地域を支える基盤であり、次世代へつなぐ重

### 農地集約と 販路強化を推進

要な産業である。ドローンなどの機器導入だけでなく、担い手育成や農地の集約、販路確保まで含めた「稼いで守る農業」をどう構築するのか。

### 産後ケア充実を

**町長** 農地集約専用アプリの導入など効率化を進めるとともに、関係機関と連携した販路開拓などを進め、農業所得の向上につながる施策を推進していく。

### ベビータンダンス教室 で身体回復を支援

**質問** 産後ケアでは休息や育児支援に加え、身体回復が心の健康にもつながる。腰痛や骨盤の不調など言いづらい悩みも多い。理学療法士などの専門職と連携した支援を取り入れる考えは。

**町長** 現在は休息や育児支援を中心とした産後ケアを実施している。理学療法士などの活用は、先進事例調査やニーズ把握を行いながら仕組みづくりを検討していく。



明るい未来は子どもたちから

# 立地適正化計画とは

## 都市機能を中心地に集約



むらまつ のぶかつ  
**村松 信一 議員**  
(矢巾未来の会)

動画は  
こちら



**質問** 町の中心地に都市機能を集約させる立地適正化計画の策定スケジュールは。

**町長** 令和7年度に課題分析などを行い、令和8年度に素案を作成予定。

パブコメや都市計画審議会  
で意見聴取し、令和8年度末  
に策定し、公表したい。

**質問** 企業誘致などの未来戦略のため、東京事務所に職員を派遣したが、成果は。

**町長** 約150社を訪問した。  
町内進出に興味がある企業  
には再度訪問するなど、綿密  
な情報共有と連携を図り、企  
業誘致に取り組んでいる。

**質問** ふるさと住民登録制度の活用により関係人口や交流人口を創出する考えは。



住民みんなで参画した地域みらいづくり会議

**町長** 制度活用により、課題  
解決や担い手確保につながる  
関係人口の創出も想定される  
ため、どう活用できるか国の  
モデル事業に応募し検討する。

**町長** 新たな付加価値を見い  
だし、町産品を活用した商品  
開発に引き続き取り組む。

**特産品開発の  
方向性見直しは**

**コミュニティの  
活性化策は**

**引き続き商品の  
開発に取り組む**

**みらいづくり計画  
に基づく活動支援**

**質問** 特産品の開発は「選別

**質問** 地域コミュニティ活性

化を図るための「地域みらいづくり会議」の成果は。

**町長** 4小学校区の地域住民  
が議論し、その声を反映した  
地域みらいづくり計画が完成  
した。計画に基づく各種活動  
や課題解決の支援に取り組む。

**質問** 地域コミュニティ強化  
として町民同士のつながりを  
深める具体策は。

**町長** 地域みらいづくり計画  
には、みんなが交流できる機  
会の創出や事業の見直しを検  
討するなど、地域主体の取り  
組みが盛り込まれており、こ  
れらの運営を支援していく。

**質問** 子どもたちが夢を持ち、  
成長できる教育環境づくりは。

**教育長** 地域の自然環境や歴  
史・伝統文化についての調べ  
学習や体験活動を推進する。

**質問** 自治会や町行政の委嘱  
役員の報酬が少なく、増額が  
必要と捉えるが、考えは。

**町長** 非常に厳しい財政状況  
のため、現状の報酬額で委嘱  
したい。

# 感染症への備えは 接種支援と予防



おがさわら よしこ  
小笠原 佳子 議員  
(公明党)

動画は  
こちら ▶



**質問** 带状疱疹ワクチン助成の効果と住民の反応、※RSウイルス母子免疫ワクチン定期接種化の準備、高齢者へのワクチン助成の考え、コロナ後の高齢者の感染症予防強化について伺う。

**町長** 带状疱疹ワクチン助成は多くの町民が利用し、接種率向上に一定の効果があったと認識している。

RSウイルス母子免疫ワクチンは、令和8年4月開始に向け、対象妊婦への案内送付や医療機関との調整を進める。高齢者向けワクチンは任意接種であり、国の動向を注視し助成のあり方を検討する。

感染症予防では手洗い・換気・咳エチケットの徹底、マスク着用など基本対策の周知を継続していく。



「事実」と「意見」を区別し、主体的に判断を

## 主権者教育と平和をどう育むか

### 学校の取り組みで体験学習を充実

**質問** 若い世代が社会や政治に関心を持ち意見を交わす力を育む主権者教育の現状は。

**教育長** 小・中学校では、社

会科や総合的な学習を通して政治の仕組みや主権者としての責任を学んでいる。

**質問** 主権者教育のアドバイザリー派遣事業活用の可能性は。

**教育長** 各学校の課題や要望などを十分に確認し、必要に応じて実施を検討する。

**質問** 被爆体験者の講演を聴

く機会の確保について伺う。

**教育長** 平和の集いでは被爆地訪問の報告や講演を行い、平和への理解を深めている。被爆体験者の講演は貴重であり、関係機関と連携しながら実施を検討していく。

## 情報リテラシー 高めるには

### 学びの強化を図る

**質問** SNS利用の低年齢化やネット上の危険を踏まえ、小・中学校でのネットリテラシー教育と、町民への啓発活動の現状と課題を伺う。

**教育長** 小・中学校では情報モラル教育を計画的に実施し、危険情報への対処や個人情報保護など、自らが適切に活用できる能力を養うことが重要と捉えている。

**町長** 町民向けには消費生活センターと連携し、詐欺防止やSNSトラブル防止の講座を開催し、相談も実施。

今後、幅広い世代に向け啓発を強化する。



ふじわら しんえつ  
藤原 信悦 議員  
(町民の会)

動画は  
こちら



# 北上川末整備堤防の早期着工を 堤防に代替する道路整備事業を推進

**質問** 土橋地区の一部では堤防が未整備であり、大きな台風がある度に水害が発生している。これまでも国や県に築堤の要望を続けてきたが、早期に解決する考えは。

**町長** これまでも国や県に対し要望してきたが、国土交通省では他の河川災害箇所との整備が優先されており、具体的な整備時期は示されていない。しかし、気候変動による豪雨河川災害が頻発・激甚化しており、その事前防災対策として、国土交通省岩手河川国道事務所や岩手県から助言をいただき、国土強靱化にかける緊急自然災害防止対策事業を活用し、堤防の役割を担う道路整備事業を行うべく、道路概略設計を進めている。設計ができれば、地域住民



途切れたままの堤防 (写真右側)

## デジタル技術を活用しては

に説明し理解を得ながら、早期完成を目指していく。

## 技術職員の不足 対応と効率化に

**質問** 令和5年冬、岩手銀行とNTTグループは、デジタル技術などを活用した自治体

の道路インフラ管理を当町と紫波町で進めた。また、今年度は盛岡市・矢巾町・紫波町で、農地集約専用アプリを使い実証実験を行った。デジタル技術の活用は、人手不足の中での業務効率化と目的達成に有効な手段と考えるが、活用策は。

**町長** 道路管理については、パトロール実施路線軌跡のデジタル化など、技術職員など

の人員不足に対応し、道路維持管理業務の効率化を目的に取り組んでおり、効率化が図られている。  
農地集約アプリは、効果が期待されることから取り組むこととした。

## 地区計画による 企業誘致は

## 定期的な協議し 円滑化を図る

**質問** 岩手日野自動車株式会社に続き、3区画の誘致を進めた。1区画は説明会が開催されたが、他2区画の進展が見られない。対応状況と解決すべき課題は。

**町長** 令和7年度に2区画を、令和8年度に1区画を決定する予定である。すでに岩手県と協議を行っており、解決すべき課題はないと考える。  
なお、地区計画決定後は立地候補者が立地にかかる手続きを行うが、開発計画の実現性を高める必要があることから、情報共有を図る。

# 特産品の新たな取り組みは

## これまでの支援を継続する



たかはし けいた  
**高橋 敬太 議員**  
(不来方)

動画は  
こちら



**質問** 本町の特産品である原木しいたけやズッキーニの出荷量は年々減少している。今後どのように守っていくのか。

**町長** これまでの補助金や交付金を継続して支援する。

**質問** 同じ支援の継続で下げ止まる見込みはあるのか。

**町長** 今のままでいいわけではないが、新たな支援としてお示しできるものはない。

**質問** ※6次産業化により、付加価値を創出しては。

**町長** 挑戦する事業者に対しては支援に努める。

**質問** 特産品開発は、都市のニーズ把握や収穫体験など消費者を巻き込む設計が大切であり、町が主導して産業振興



出荷量が減少する特産品をどのように守るのか  
(写真は原木しいたけ)

おおよび雇用創出につなげては。

**町長** ふるさと納税の返礼品開発へつなげるなど調査する。

**質問** 農業においては農地の集約が大切であるが現状は。

**町長** 地域での協議の場において農地の担い手も参加しており農地交換の話も出ている。

**質問** 商工業を支えるために町内事業者のファンづくりも

大切である。仕事体験や見学など消費者との接点を増やす取り組みを強化しては。

**町長** 強化を検討したい。

**質問** 観光振興も進める必要があり、ドッグランの整備やキャンプ場設備の強化予定は。

**町長** 予定はないが検討する。

### 道徳教育充実を

### 医療や文学の資源を活用して育む

**質問** 医師による命の授業や宮沢賢治を題材にして生命の尊厳について学びを深めては。

**教育長** 専門家と保健教室を開催しており、引き続き連携を深めていく。

宮沢賢治生誕130年であり、イベント開催を検討する。

**質問** 郷土芸能の存続を願う声が多くある。部活動の地域展開と併せて強化できないか。

**教育長** これまでの流れと部活動の両面から取り組む。

**質問** 子ども会運営の負担増加や維持が困難という声がある。広域連携など解決策は。

**教育長** 小学校区単位で話し合いを行っており、テーマに取り上げるのも効果的である。

**質問** 民間とIT教育強化を。

**教育長** 将来の職業選択の上で有意義であり、民間企業の協力があればプログラム実施の可能性はある。

# 奨学金制度の更なる充実を

## 制度の在り方研究に努める



あかまる ひで お  
**赤丸 秀雄 議員**  
(新誠会)

動画は  
こちら



**質問** 町の保育士などに対する奨学金返済支援制度について、人材確保や定着および職防止の観点から、町出身者で町に住民税などを納める方への支援を拡充する考えは。

**教育長** 他自治体で若者定住施策の一環で運用していることは承知している。

本町の施策内容との整合性を図りつつ、研究したい。

### 若者の Uターン促進を

#### 制度検証が必要

**質問** 大学生などの4年間で奨学金借入平均額は323万円と言われる。一部の企業では支援制度の導入が進んでいるが、町でもUターン施策

促進のために検討する時期と  
思うがどうか。

**町長** 考えには賛同するが、若者定住に何が必要で、何を望むか、また財政状況や現行制度を検証する必要がある。

### 西部地域活性化を

#### 実態を踏まえ

#### 計画的に実施

**質問** 町の賑わいに地域差が出ていると複数の町民からの



早期の空調設備設置を待ち望む  
(写真は矢巾北中学校)

声がある。城内山や煙山ダム  
周辺の観光推進は。

また、西部地域に行くための、あるいは西部地域に居住する方の交通手段の確保をどう考えているか。

**町長** 城内山の観光整備はクマ出沒対策の電気柵設置で計画に遅れがある。ダム湖の

※サップ事業などは安全を優先し事業を継続する。ジャンパランドのイベント開催の共創や、交通手段の不便解消などにも取り組んでいきたい。

### 集落支援員の 増員を図っては

#### 状況を踏まえ対応

**質問** 集落支援員を増員し、コミュニティの活性化や伝統芸能活動の充実などを図ってはどうか。

**町長** 昨年11月から1名任用しており、状況を踏まえて適切な対応に努めたい。

### 両中学校体育館 空調設備を

#### 令和9年度を予定

**質問** 猛暑日などの児童・生徒の体育授業対応や、災害時の基幹避難場所対応のため、両中学校の体育館に空調設備を設置することであるが、その内容は。

**教育長** 国の助成制度を利用して、両中学校の体育館に空調設備を設置予定であり、設置完了時期は令和9年度の夏以降を想定している。

サップ (S U P) …スタンドアップパドルボードの略。

# 農地の集積・集約の推進は

## マッチングアプリを活用



みずもと じゅんいち  
水本 淳一 議員  
(町民の会)

動画は  
こちら ▶



**質問** 当町における農地の集積・集約の推進状況は。

**町長** 集積率は8割を超えているが集約化は不十分。

現在は地域計画の見直しに向けた協議を15地区で行っている。

**質問** マッチングアプリを利用した耕作意向調査の状況は。

**町長** 町内4地区で、農地は約4,760筆、耕作者は約520名の協力により調査を行った。マッチング結果は報告会として3月に開催。

**質問** マッチングした農地の取り扱い。

**町長** 対象者双方の意向を最終確認し、地域計画に係る調整を行い、農地中間管理事業を活用した貸借へつなげる。



伝法寺遺跡周辺図(案内板)に掲載の安倍道(アベミチ)

## 公有地の保全是

### 県に引き続き要望

**質問** 公有地の管理に対する相談や苦情への対応は。

**町長** 現地を確認し必要な場合は、町の直営などにより対応する。

**質問** 草木などの野外焼却は。

**町長** 環境などにかかる法制度により原則禁止されている。ただし、農林業などでやむを得ず焼却する場合は、消防署へ事前の届け出が必要。

**質問** 一級河川の危険箇所を改修し、草刈りの安全確保を。

**町長** 県が管理する一級河川太田川は、県で河川整備改修事業を進めている。適正な管理を継続して要望していく。

## 歴史遺産の

### 保全と発信は

#### 全遺産を重視して

**質問** 町の歴史遺産の把握状況は。

**教育長** 現在町内には、44の指定文化財がある。「安倍道」については、大正10年の志和町道路台帳に掲載されており、重要な歴史遺産であるが、時間が経ちすぎており、現地踏査や確認が十分に進んでいない。

**質問** 市や町にまたがる歴史遺産の保全・発信に関して、近隣自治体との連携状況は。

**教育長** 城柵遺跡を有する自治体とは「城柵ネットワーク」を組み連携している。そのほかの歴史遺産の周知も、今後重視する。

**質問** 本町の歴史に関する資料請求への対応は。

**教育長** 文化スポーツ課文化財係が窓口になり対応。



おがわ ふみ こ  
**小川 文子 議員**  
(日本共産党矢巾町議団)

動画は  
こちら



# 県立高校新体育館問題の現状は 知事から損害賠償請求を受理

**質問** 2021年から県教育委員会と共創プロジェクトとして進めてきた南昌みらい高校新体育館の建設が難航し、県は生徒のために学校敷地内に体育館を建設するとした。

当初、生徒も町民も利用でき、ハンドボールの公式試合が可能で、冷暖房設備もあることから期待も大きかった。

この計画がとん挫した検証が必要である。

設計変更は2回あった。1回目は、建築基準法の日影規制で3階が2階となったために2面のコートが1面しかとれなくなった。2回目は、予算の縮減から観客席がギャラリーになったものである。ハンドボールコート1面とギャラリーを認めて覚書を締結したが、工事開始直後にゼ



体育館の建設が予定されていた町有地

の十分な明記がなく、協議し協定を締結すべきであった。

**質問** 令和6年10月中旬に担当課が未来戦略課から総務課に変更となったが、その理由を伺う。

**町長** 財産管理および契約事項を所管する総務課へ移管。事務の適正管理と責任の明確化を図るためである。

**質問** 県からの損害賠償について、今後の対応は。

**町長** 岩手県知事から、令和8年2月18日付けで新設高等学校における屋内運動場の整備などにかかる損害賠償請求についての通知を受理しており、庁内で協議し、慎重に対応する。

## 医療費支援を

### 国、県に要望する

**質問** 子どもの医療費助成は一部負担がある。自己負担をなくせないか。

**町長** 国、県に要望していく。

ロベースとなり、その後、2面のコートが共創プロジェクトの第1条件と主張したが、県は受け入れられないとした。すでに協議を尽くして決定したことに疑義が生じたというのであれば、熟慮、慎重さが足りなかったのではないか。

**町長** 岩手県教育委員会と十分に議論を重ね、覚書を締結したものと認識している。

**質問** 庁舎内での議論は、どのように行われたか。

**町長** 事業の内容については関係課と十分な議論を重ね、最終的に庁議を開催し内容を決定した。

**質問** 覚書は重要なもので、履行には責任を伴い、履行できない場合は損害賠償が発生することが一般的と考えるが、どのような認識であるか。

**町長** 覚書は協定書に準ずる重要な合意文書で、履行には責任を伴うものだが、覚書には町が必要と考える重要事項

# 産業用途大麻の制度的整理を

## 推進する考えは全くない



ササキ マサヒコ 議員  
(不来方)

動画は  
こちら



**質問** 産業用大麻は農作物であり町政方針の持続可能な

産業用大麻の栽培にこれらの要件を備え熱意をもって取り組む方の免許取得の妨げにならないよう十分配慮しつつも、産業用大麻の栽培を推進する考えは全くない。

**町長** 農業従事者が新規に免許を取得することは非常に困難であると認識している。

産業用大麻の栽培にこれらの要件を備え熱意をもって取り組む方の免許取得の妨げにならないよう十分配慮しつつも、産業用大麻の栽培を推進する考えは全くない。

**質問** 本町は農業を基幹産業として発展してきたが、農業従事者の高齢化や担い手不足などの課題があり、令和5年の法改正により\*産業用大麻の制度的整理と産業利用が進みつつある。

農業にも関わる。法改正後に全国で初めて第一種栽培免許を取得された方々と直接つながり、全面的に協力いただけの準備ができた。

**町長** 関心はある。管理さえ徹底すればできるということであれば、まずは先進地視察を実施したい。



色々な産業につながる産業用大麻

## 水辺の里の 利活用ビジョン

## 民間のアイデアや 市場性を調査

**質問** 南昌山水辺の里の現在の位置づけとして、第8次矢巾町総合計画および交流人口拡大戦略の中で、どのように整理しているか。

**町長** 第8次矢巾町総合計画では、西部地域の観光活性化を継続するとしており、水辺の里は被災以前のよう自然の豊かなスポットとして活用することを視野に、令和6年度は不適切に堆積された土砂を撤去した。

**質問** 将来的な利活用ビジョンは策定されているのか。

**町長** 現時点では策定していない。

**質問** 交流人口・関係人口拡大の観点から、オートキャンプ場や野外イベント空間としての活用の可能性を検討する考えはあるか。

**町長** 多角的な観点からさまざま検討する。

**質問** 官民連携や公募型プログラム方式導入の可能性はあるか。

**町長** 公共施設や町有地の活用を検討する初期段階で、民間事業者と直接対話し、アイデアや市場性を調査する。

産業用大麻…幻覚作用のある成分の含有量が極めて低い、あるいは含まない大麻草のことで、多岐に渡る工業製品などの原材料として活用される持続可能な資源。



こん 昆 しょういち 議員 (新誠会)

動画は  
こちら ▶



# 町民の幸福をどう政策に生かすか 人とのつながりなど、まちづくりで

**質問** GDPだけでははかれない豊かさやウェルビーイングが重視される中、幸福をどう定義し、政策に生かすのか。

**町長** 第8次総合計画で「幸福感の向上」を掲げ、心身の健康や安心して暮らせる環境、人とのつながりを含めたまちづくりを進めている。

**質問** 町民が実感する幸福度の把握調査や指標導入の考え、子ども・若者の幸福度を高める施策、高齢者や障がいのある方が安心して暮らせる支援など、行政全体を幸福の視点で点検する体制づくりを問う。

**町長** 幸福度調査は行っていないが、総合計画策定時のアンケートなどで満足度を把握しており、指標導入は今後検討する。



幸福度の向上につながる県の取り組み (県ホームページより)

子ども・若者の意見は未来創造会議などに反映し、高齢者や障がいのある方には見守りや配食サービスなどの地域の支え合いを通じて安心感の向上を図る。

## コミュニティの位置づけは

### 住民同士助け合う重要な基盤

**質問** 自治会の担い手不足や役員の高齢化が進む中、地域コミュニティをどう位置付けているのか。

**町長** 地域コミュニティは、住民同士が助け合う存在で重要な基盤と位置付けている。

**質問** 負担軽減や支援策の見直し、NPOなどの目的型コミュニティの支援、要配慮者の見守り体制など、今後の担い手育成や体制整備を問う。

**町長** 役員の高齢化や担い手

不足は把握しており、補助制度の統廃合や書類削減などで負担軽減を進めている。

目的型コミュニティについても広報や活動場所の確保などを通じて支援する。

また、要支援者名簿の共有や研修で、地域と行政が連携し見守り体制の強化を図る。

## 特別な支援の体制整備は 関係機関での連携を図り支援

**質問** 不登校や発達特性、家庭環境など多様な課題を抱える子どもの支援として、教育と福祉の連携、居場所づくりや学びの選択肢、早期支援、家庭への対応など、包括的支援体制の構築を問う。

**町長** 関係機関での連携を図っており、きめ細かな対応により、心の安定を重視した支援を行っている。

今後も、伴走型の支援を継続していく。

私も

ひとこと!



### 傍聴の感想

今回、3月11日に行われた  
予算決算常任委員会の総務分  
科会を傍聴しました。

質疑が活発に行われてお  
り、町が新年度に行おうとす  
る事業の内容や、これまでの  
取り組みの進捗状況など、予  
算に関する具体的な内容を町  
民も確認することができると  
感じたため、とても有意義だ  
と感じました。

また、予算の内容をもと  
に、町の課題や今後必要な事  
業について議員の皆さんと役  
場職員の皆さんが一緒になっ  
て考えている姿、やり取りが  
印象に残りました。



おおひら りょう  
大平 諒 さん  
(南矢幅7区)

### 議員について

これまで議員は町民と距離  
がある存在だと思っていまし  
たが、議会の傍聴や「議員の  
学校」を通じて関わる中で、  
今は、町民にとって身近な存  
在であり、常に町のことを考  
えて活動されている方々なの  
だと思っています。

### 最後に一言

お忙しい中でも町のために  
活動されている議員の皆さん  
のご努力に感謝し、これから  
も応援するとともに、今後の  
ご活躍を期待しています。

## 矢巾町議会 モニター制度を導入



令和8年4月から導入され  
た議会モニター制度は、議会  
の活動状況について広く町民  
からの意見を聴き、議会の運  
営などに反映させることで、  
議会の円滑で民主的な運営を  
推進することを目的としてい  
ます。

議会モニターの活動内容  
は、本会議、常任委員会、特  
別委員会などのいずれかを傍  
聴し、運営などに関する意見  
を提出することや、議会広報  
紙やホームページに関する意  
見を提出すること、議長が依  
頼する議会運営に関する調査  
事項への回答、その他議長が  
必要と認めた事項です。

### あなたもモニターになりませんか！

(1) 人数	数名
(2) 資格	・18歳以上の議会の運営に関心のある矢巾町民 ・町外在住の場合は議長が認めた方 (ただし議員、元議員は除く)
(3) 任期	1年(再任は妨げない)
(4) 謝金等	原則は無償 (議長が必要と認めたときは交通費相当額支給あり)
(5) 応募方法	電話 (TEL019-611-2801) または メール (gikai@town.yahaba.iwate.jp)

### 「議員の学校」が修了



講義を楽しむ参加者と議員 (第4回)

「議員のなり手不足」を解消  
するために、議会や議員の活  
動を知っていただく機会とす  
る「議員の学校」全6回の講義  
が修了しました。参加者は13名  
で、最後に廣田清実議長から修  
了証書を授与しました。

### 参加者からの声

▼大平諒さん「議員の声が聞け  
て有意義な時間だった。」

▼高橋憲康さん「よく聴き理解  
して述べることの大切さを教  
わった。」

▼南幅大地さん「議員の苦労や  
思いを聞いて勉強になった。」

▼建部詩子さん「議員を身近に  
感じられる、あたたかい学び  
の時間だった。」

# 令和7年度常任委員会視察研修報告

総務常任委員会、産業建設常任委員会、教育民生常任委員会は、それぞれ県外での視察研修を実施し活動テーマに沿って先進事例を調査研究したので、次のとおり報告します。

## 《各委員会の役割》

- ◆**総務常任委員会**…総務・政策・財務・税務・防災などに関する調査、請願などの審査を担う。
- ◆**産業建設常任委員会**…農林業・商工業・道路・河川・上下水道などに関する調査、請願などの審査を担う。
- ◆**教育民生常任委員会**…教育・子ども子育て・福祉・介護・健康に関する調査、請願などの審査を担う。

## 教育民生

### 活動テーマ

子どもから高齢者まで  
しあわせに生きる環境整備



教育民生常任委員会は、令和7年10月14日から16日まで視察研修を実施しました。

■主な視察先・視察内容

- ・静岡県三島市 スマートウエルネスの取り組み
- ・神奈川県大磯町 大磯町式部活動の取り組み
- ・神奈川県寒川町 介護予防事業の取り組み



## 産業建設

### 活動テーマ

地域経済循環による町内事業者活性化のための調査研究



産業建設常任委員会は、令和7年10月28日から30日まで視察研修を実施しました。

■主な視察先・視察内容

- ・愛知県蒲郡市 サークュラーシティ蒲郡の取り組み
- ・愛知県田原市 農商工連携事業と農業振興の取り組み
- ・東三河地域研究センター 地域開発・経済活性化



## 総務

### 活動テーマ

公民連携で自治振興による  
安全安心のまちづくり



総務常任委員会は、令和7年10月1日から3日まで視察研修を実施しました。

■主な視察先・視察内容

- ・富山県小矢部市 能登半島地震からの復興と防災
- ・福井県勝山市 「にこにこ地域づくり」の取り組み
- ・福井県あわら市 スマートシティとDX推進





にぎわう徳丹城春まつり

## 徳田地区商工振興会

副会長 <sup>かわむら</sup> 川村 <sup>ふみひろ</sup> 文洋さん (西徳田1区)

### 国指定史跡徳丹城に

### 「にぎわい」を！

私は現在、徳田地区商工振興会の副会長をしております。

徳田地区商工振興会は、矢中町で唯一の国指定史跡徳丹城跡を含めた、国道4号沿いの高田地区から徳田地区のにぎわいを取り戻そうと、地元の商工業者が集まり2002年に立ち上げました。「なぜ徳丹城跡をにぎわいの場所に？」と思われる方もいると思いますが、徳丹城跡が国指定史跡になる前までは、徳田小学校を中心に国道4号を挟んで多くのお店が立ち並び「徳田銀座」と呼ばれるほどにぎわっていた場所でした。

しかし、1969年に徳丹城跡が国指定史跡となってからは、史跡整備・保存のためにぎわっていたお店に立ち退き要請があり、移転を余儀なくされました。

当時は、徳丹城跡が国指定史跡になっても「この整備が終わればにぎわいが戻ってくるだろう」と考えていました

が、整備から約50年が経っても、当時のにぎわいが戻ることはありませんでした。

そこで振興会では徳丹城跡周辺のにぎわいを取り戻すべく、これまで「徳丹城春まつり」「徳丹城いきいきマルシェ」「徳丹城曲家ミュージックフェスティバル」などを企画・開催してきました。

第1回徳丹城春まつりは「徳丹城の夜桜を眺めながら酒を飲んだら盛り上がるだろうな」と考えて企画したもので、4月の風の冷たさとは裏腹に、来場したお客さんとスタンプが凍えながらも酒を飲み、これからこの地域をどうやって盛り上げていけば良いかを熱く語った記憶が鮮明に残っています。

そして今年の「徳丹城春まつり」は終わりましたが、今後も色々と企画しており、にぎわいと徳丹城1200年の歴史を感じに、ぜひ、遊びに来てください。

### 表紙によせて

令和7年11月から令和8年3月までの間、全6回「議員の学校」を開催。議員の役割や活動に関する講座や、議員との対話、議会の傍聴を通し参加者は議会や議員とのつながりを深めました。



この一年は議会改革にも取り組んでまいりました。町民の皆様へは議会だよりでの進捗報告を行い、また、イベントなどでもご意見を頂戴してまいりました。今後も的確な検討を重ね、最終立案できるような努めてまいります。

編集委員  
齊藤 勝 浩

発行・編集責任者  
議長 廣田 清実

編集委員  
委員長 藤原 信悦  
副委員長 山本 好章  
委員 横澤 駿一  
齊藤 勝浩  
木村 豊